

文教厚生常任委員会 行政視察報告書

日時 令和2年11月2日（月）

内容 ①宇都宮市 クボタ空調（大規模屋内施設の冷暖房）
②宇都宮市 カンセキスタジアムとちぎ等（国体施設）について

文教厚生常任委員会では、令和2年11月2日に宇都宮市内にある、上記施設の視察研修調査を行いました。

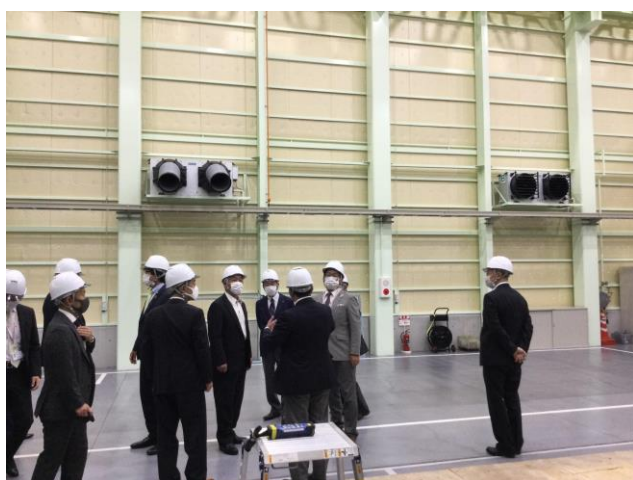
参加者は、委員長の福田克之の他、高瀬一徳副委員長、石原孝明委員、石岡祐二委員、角田憲治委員、小堀勇人委員、職員では鈴木議事課長、中村学校教育課長、佐藤スポーツ振興課長他担当職員で、内容については以下の通りです。

○ クボタ空調（大規模屋内施設の冷暖房）について<宇都宮市>

クボタ空調では、大規模屋内施設の冷暖房について、学びました。

大規模屋内施設の冷暖房はエリア空調と呼ばれ、施設内の暑熱対策などの環境改善に効果があり、現在避難所運営対策や新型コロナウイルス感染症対策の観点から、関心が高まっています。

今回は、現場での運用方法について、実際の体育館と同規模施設内で冷暖房本体を操作し直に体感することができました。



（検査棟での冷暖房機器の説明）



（壁に取り付けられたエリア空調）

既に、東京都板橋区や杉並区では体育館等の公共施設に同様の冷暖房を設置しており、効果を発揮しているとのことでした。

空調機は、既存の体育館のキャットウォークなど狭いスペースに設置が可能で、大規模な施設改修を必要とせず、機能も暖冷房の温度調節と風力の強弱の機能のみだけの設計となっていました。

さくら市においては、既存の体育館等大規模施設への導入の有無にあたり、大変参考になりました。

○ カンセキスタジアムとちぎ等（国体施設）について<宇都宮市>

カンセキスタジアムとちぎは、栃木県総合運動公園内に整備され、今年8月に供用が開始され、2022年のいちご一会とちぎ国体で使用する陸上競技場です。スタジアムは、陸上競技、サッカーなど団体が主催する大会、記録会、強化練習会、講習会が優先的に利用されています。競技場としての機能のほか、会議室、ラウンジ、スポーツ医科学センター等の機能を兼ね備え、団体利用がないときには有料で普通利用が可能です。

また、総合運動公園内に新たに整備されました武道館を併せて見学しました。柔道、剣道、空手や弓道などの競技が行えます。競技場以外にも選手ラウンジが整備され、広々とした施設となっていました。弓道場の一部が整備の途中で、間もなく完成する予定とのことでした。

栃木県総合運動公園は、その他野球場、テニスコート、屋内水泳場やアリーナなど国体の開催に向け整備が進められており、カンセキスタジアムとちぎを含む、栃木県総合運動公園全体では、県民スポーツの殿堂として毎年60~70万人が利用しています。

今回視察しました施設では、新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、更衣室、シャワー、ロッカーの使用を制限するなど利用者の安全・安心を第一に運用している点についても学びました。両方の施設とも、新型コロナウイルス感染症対策が万全で、各種大会や国体に向けて安全・安心に大会運営がされるものと思います。

現在のコロナ禍において、さくら市内体育施設対策についても大変参考になりました。

また、12月にはカンセキスタジアムとちぎにて、サッカー栃木SCさくら市民デーが開催されます。



(カンセキスタジアムにて)



(木材を使用した武道場)

○ まとめ

令和2年も残り1ヶ月、新型コロナウイルス感染症第3波に備え、しっかり取り組んで参ります。